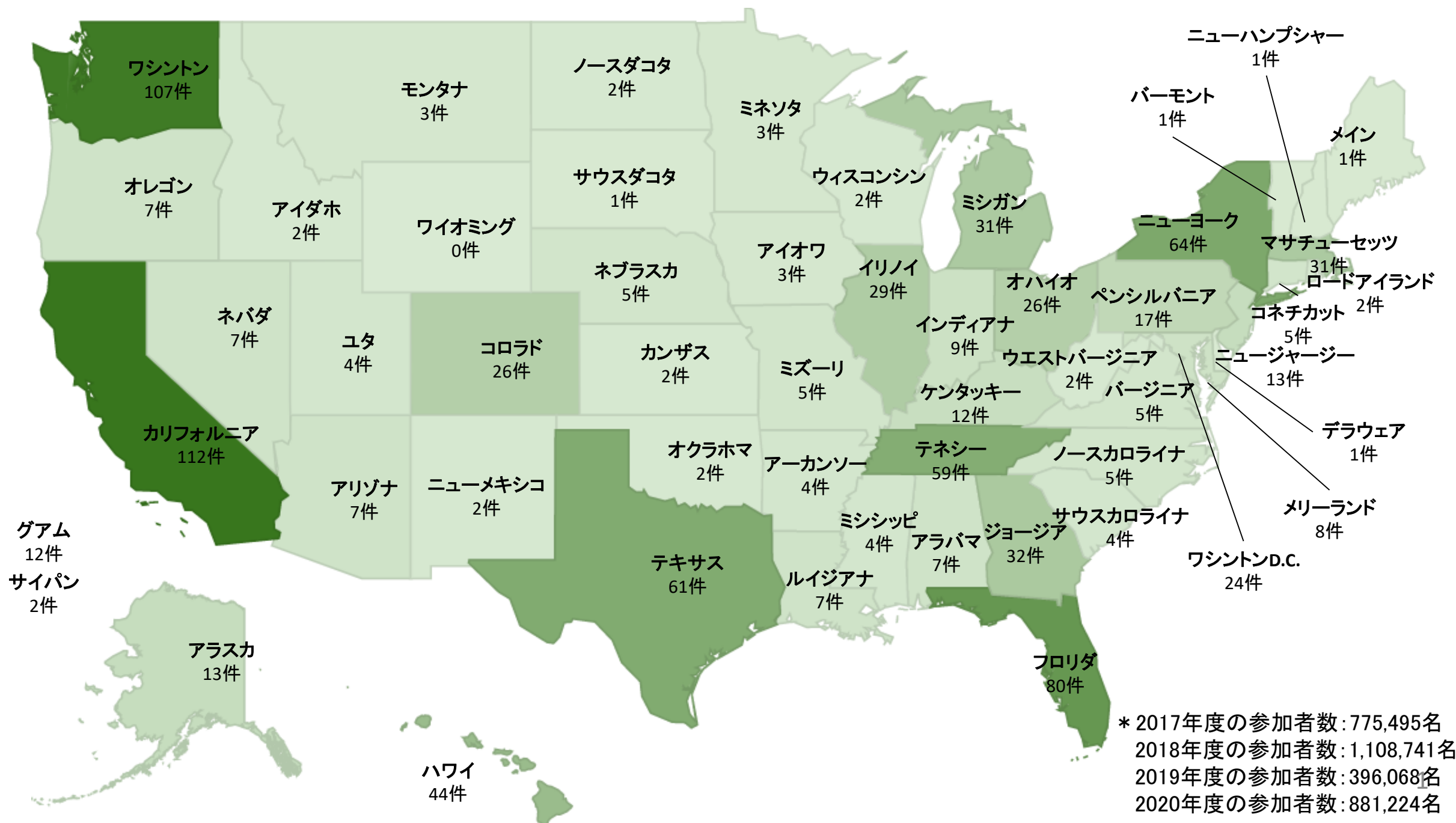


グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース これまでの取組

令和3年7月30日
外務省

2017年度－2020年度の案件実施状況(地域別累計実績)

2017年に策定した行動計画に基づき、関係省庁・機関や在米日本企業が連携しつつ、日米経済関係に関する情報発信、姉妹都市関連イベント、日系企業支援、日本祭り・日本関連イベント、観光促進イベント、日本食PR等、累計918件の事業を実施。



* 2017年度の参加者数: 775,495名
 2018年度の参加者数: 1,108,741名
 2019年度の参加者数: 396,068名
 2020年度の参加者数: 881,224名

グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース これまでの取組

行動計画(地域の特徴に応じたアプローチ)

広大でかつ多様性に富む米国においては、各地域の特徴に応じた「テイラー・メイド」のアプローチが必要不可欠であり、各在米公館が各管轄地域の特徴に応じて、様々な事業を企画・実施。

(2) 日本語学習者が少ない地域 柴犬祭り(コロラド州)

日本語学習者が多い西海岸・東海岸・中西部以外の地域においては、日本祭りを実施。



柴犬祭りの様子 (コロラド州 オーロラ市)

(4) 地方間交流が存在する地域 日アラスカ友好ビデオキャンペーン (アラスカ州)

日本と姉妹都市関係のある自治体があるアラスカ州では「日アラスカ姉妹都市フォーラム」を設立し、ビデオコンテストをオンラインで実施。



日アラスカ姉妹都市フォーラムの様子

(1) 進出日本企業が多い地域 草の根キャラバン(インディアナ州)

日系企業が多く進出しているインディアナ州をはじめとする中西部において、地方都市をまわり、日本企業の地元への貢献をインプット。

草の根キャラバン訪問先の市長がビジネスミッションを引き連れて訪日した成功事例あり。



草の根キャラバンによる企業訪問 (インディアナ州ワシントン市)

(3) 特定の産業分野や研究開発領域などに特色を有する地域 CIC (マサチューセッツ州)

スタートアップ企業の集積地であるボストンにおいて、スタートアップ支援団体にサテライト・ブースを常設し、イベントを実施。



CICにおけるネットワーキングイベントの様子 (マサチューセッツ州ケンブリッジ市)



グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース これまでの取組

行動計画(訴求対象の関心度に応じたアプローチ)

訴求対象の日本への関心の程度に応じて、それぞれの対象につき注力すべき点や目標におのずから違いが生じることから、場合分けを行い、きめ細かなアプローチを取ってきた。

(1) 現時点で日本への関心度が必ずしも高くない訴求対象

- マイアミ総: オーランド日本祭り

⇒ 幅広い人達に対してソフトなコンテンツを一方向的に発信

オーランド日本人会が毎年企画しているオンラインでのオーランド日本祭において、**日本の食などの発信や日系旅行業者から日本の観光関連情報の提供を実施。**



オンラインでのオーランド日本祭りの様子

(2) 日本への関心が一定程度ある訴求対象

- 在米大: メリーランド州と神奈川県友好提携40周年事業

⇒ 対象を絞って双方向の交流を実施

友好提携を結んでいるメリーランド州・神奈川県両地域の学生が自分の地域の魅力を相手国の言語で紹介する映像を制作し、オンライン上で、**今後の活躍が期待される学生同士の交流を促進。**



オンラインでのメリーランド州と神奈川県の友好提携40周年事業の様子

(3) 日本への関心が高い訴求対象

- ニューヨーク総: 在ニューヨーク投資家・金融機関等を対象とする情報発信

⇒ 一般情報では入手できない専門的・高度な内容を発信

米国の金融・経済の中心地であるニューヨークにおいて、投資家の関心の高い**「世界に開かれた国際金融センターの実現」をテーマに金融庁の協力を得て米国投資家向けウェビナーを開催。**



オンラインでの投資家向けウェビナーの様子

グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース これまでの取組

その他グッドプラクティス

州知事・市長等との人脈形成



- ワシントンDCにおいて全米知事会の総会が開催される機会に、27州の知事の出席する大使主催レセプションを公邸で開催。
- 日本政府関係者及び日本企業幹部との接点を設け、新任知事へ日本と各州の友好関係・経済関係をPRし、州知事との人脈形成を促進。



エマニュエル・シカゴ市長へ
千葉氏紹介



開会式でのエマニュエル・シカゴ市長挨拶

- シカゴ圏最大の食の祭典「シカゴ・グルメ」に和牛専門家として名高い千葉祐士氏を招き、会場内特設ステージで講演・実演を行った。
- 和牛を含めた和食と日本酒の魅力を発信するとともに、開会式に出席したエマニュエル・シカゴ市長（当時）との人脈形成につなげた。

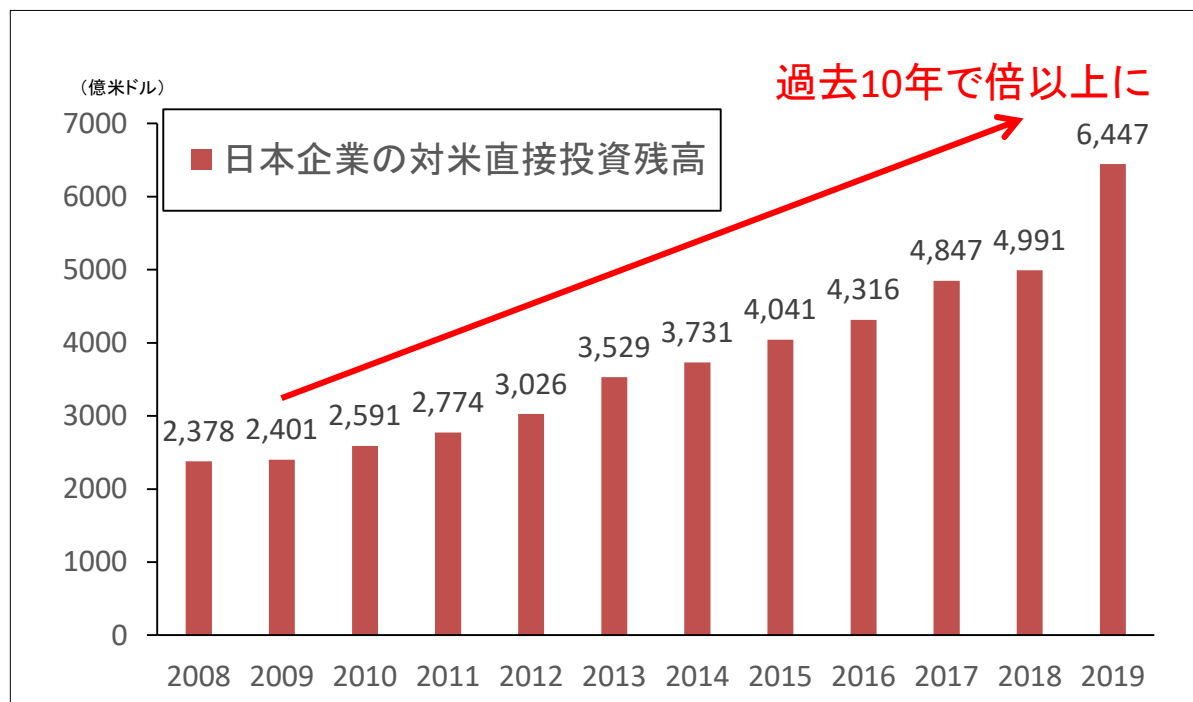
グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース これまでの取組の総括

日米経済関係の現状

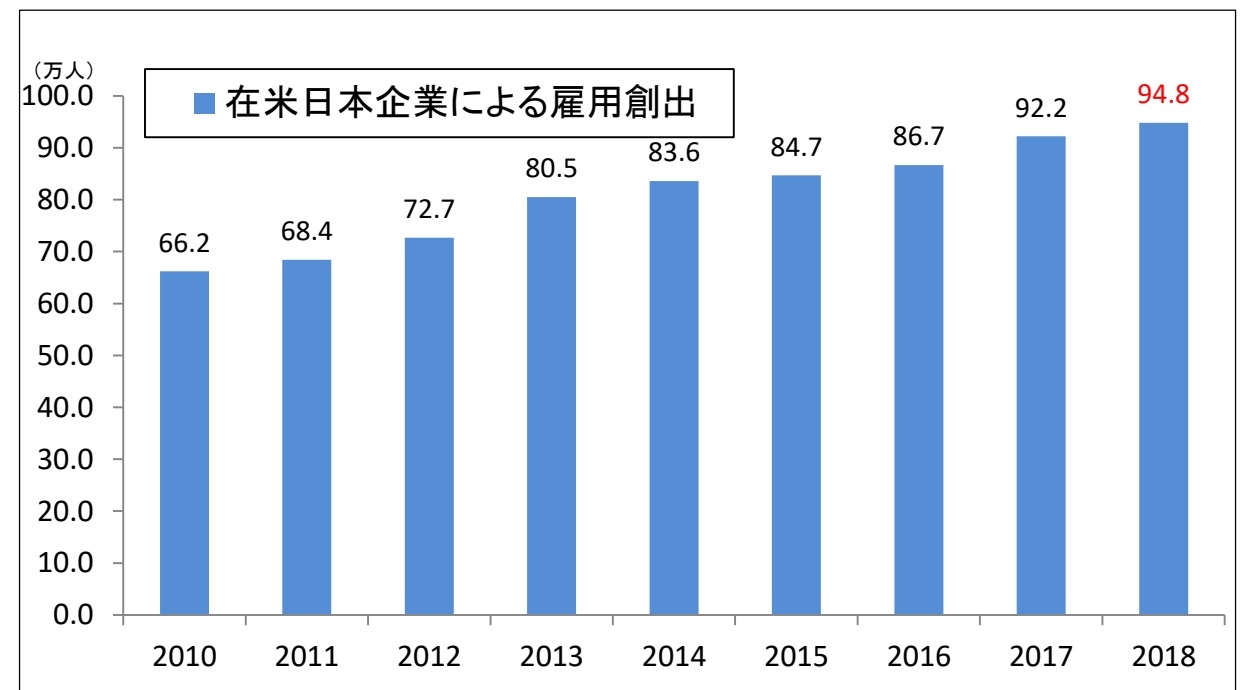
- 日米経済関係は日系企業による**活発な対米投資・雇用創出**や**日米貿易協定・デジタル貿易協定の発効**により一層強固に
- 米国にとって日本は輸出・輸入ともに、加、墨、中に続いて**世界第4位の相手国**(米国の貿易赤字全体に占める比率は6.1%(中、墨、独に続いて第4位))、**世界第1位の対米直接投資残高額**(2019年で6,447億ドル)、**英国に続き第2位の雇用創出**(2018年で約95万人を雇用。グリーンフィールド投資(M&Aを除いた新規事業創立・既存事業拡張のための投資)による雇用に限れば2019年は第1位)
- コロナ禍でも、米国に進出している日系企業は、**地元深く根付いた良き企業市民**として、米国人と手を携えながら、幅広い分野で**コロナ対策を積極支援**



2017年に策定された**行動計画**が定める**指針**は引き続き有効であるところ、**同行動計画の指針**を**継承しつつ**、**バイデン政権の重点分野**を踏まえ、**米国各地において取組を一層進めていくべき**。**行動計画2.0**につき別紙参照。

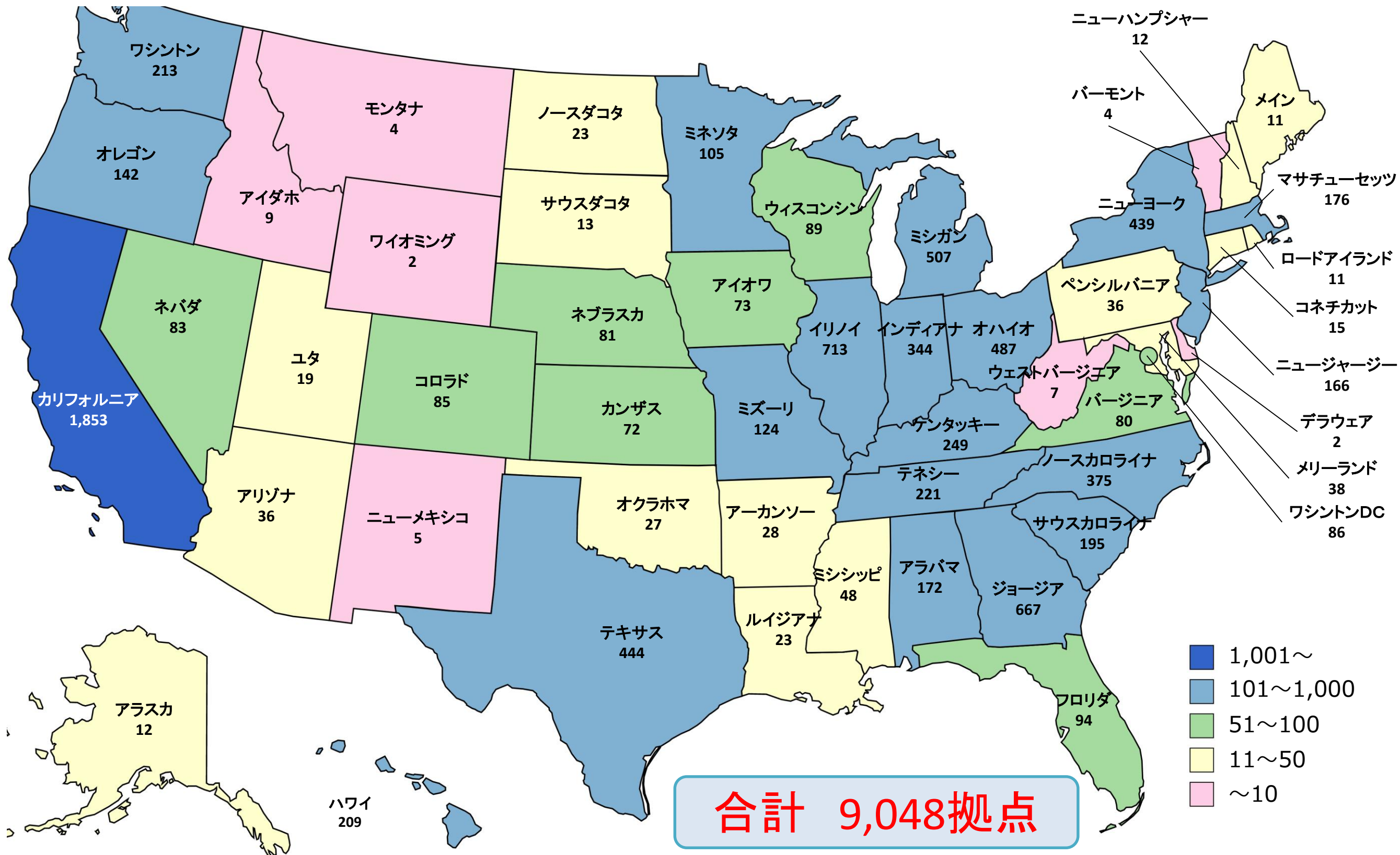


(出典:米商務省)



(出典:米商務省)

グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース 重点地域について（米国に進出する日本企業の拠点数）



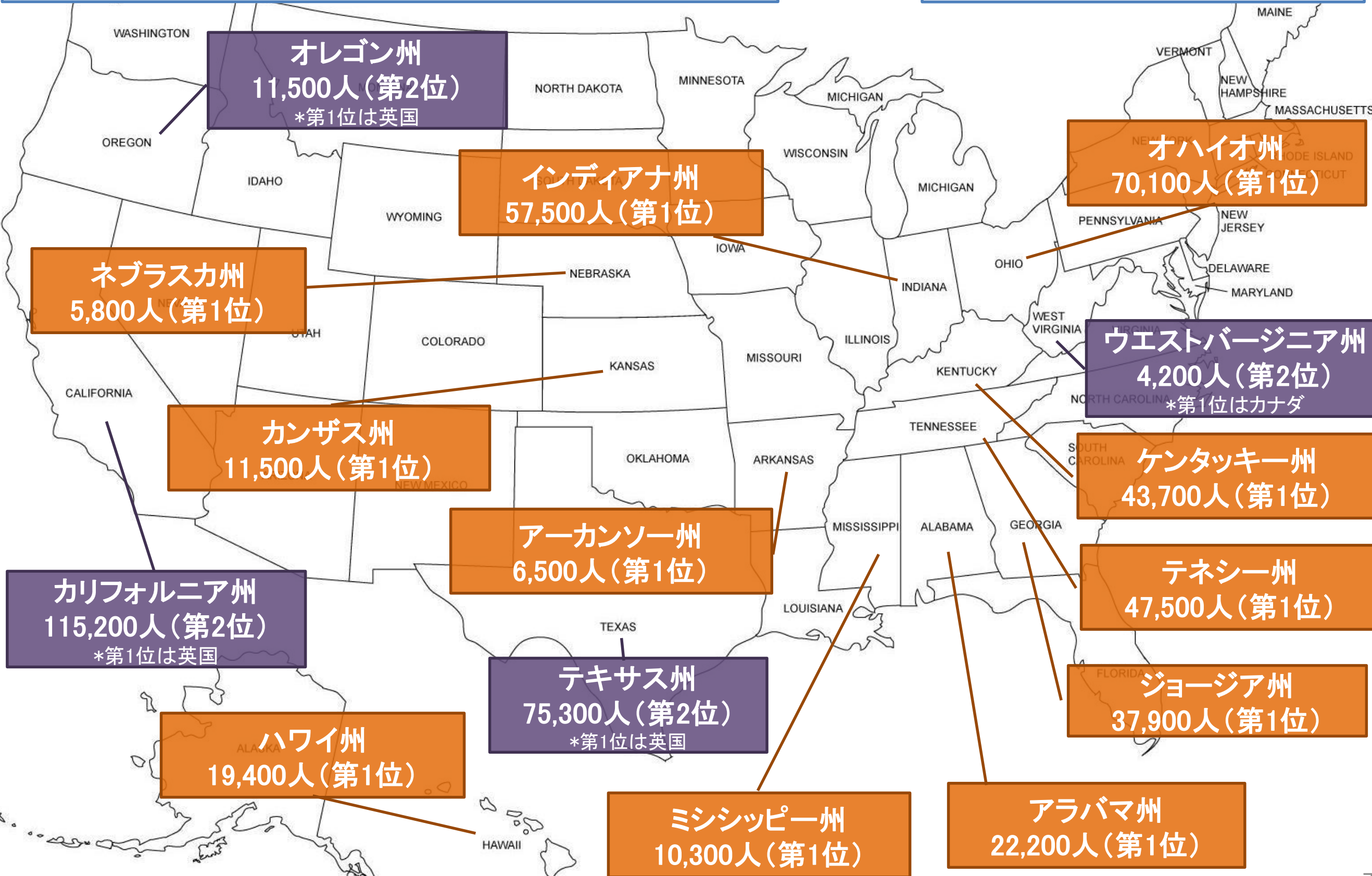
(注)グアムは113、プエルトリコは6

(注)「拠点数」には現地法人、支店、駐在員事務所、出張所等を含む。
出典：外務省「進出日系企業実態調査(令和2年10月実施)」

グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース 重点地域について（日系企業による米国の主な州別の雇用創出）

※括弧内の順位は当該州進出中の日本の順位。11州で第1位。4州で第2位。

日本企業の雇用創出：94万8千人(2018)



グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース 重点地域について（米国の日本語学習者数分布）

➤ 中央部の州において日本語学習者が少ない。

